

大会規則及び競技者・指導者の注意事項

○ この大会は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則に従って競技運営を行う。

1. 招集（コール）

招集の時間は ①トラック競技の予選は開始予定時刻の40分前～20分前 ②トラック競技の準決勝・決勝は30分前～15分前 ③フィールド競技は60分前～40分前とする。

招集所においてナンバーカード・スパイク等の最終点検を受けて入場する。入場は全て競技役員（補助員）の誘導による。招集時刻に遅れた者は棄権とみなして出場を許されないの、特に注意する。氏名に誤記載があった場合には、朝の学校受付の際に正しく訂正する。リレー競技は、招集所にて（ ）の中にオーダー（走順）を必ず記入すること。四種競技は、その日の最初のみ招集を行い、次の種目以降は、直接競技の場所に集合して点呼を受けること。四種競技では、1種目でもスタート・試技をしなかった場合は、それ以降の種目に参加することはできない。

招集所は、第3ゲート（200mスタート付近）の外側に設ける。

2. レーン順・試技順

トラック競技のレーン順及びオーダー（スタート時の整列順）は、プログラム記載の○数字のとおり、フィールド競技の試技順は、上から下の順序とする。

3. 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。ただし、男女四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートをした競技者は、すべて失格とする。なお、競技規則第162条5「スタートにおける警告」に関する2018年度改正ルールは適用せず注意にとどめる。

4. 800mは、第1曲走路終り付近のブレイクラインまで、決められたレーンを走らなければならない。左のレーンに入ったり、ラインを踏んだりしたときは失格となる。

5. 予選・準決勝を通過し、その種目の次のラウンドに出場しなかった競技者は、他の種目に出場することを認められない。

6. バーの上げ方（天候などの状況によっては、変更する場合もある。）

◇走 高 跳（走高跳は、2グループに分けて行う場合がある。）

男子：練習 1m50/1m55-60-65-70-75-80-85-88・・・以降3cmずつ

女子：練習 1m25/1m30-35-40-45-48-51-54-57-60・・・以降3cmずつ

◇四種競技走高跳（上げ幅は変えない）

男子：練習 1m30/1m30-35-40-45-50-55-58-61・・・以降3cmずつ

女子：練習 1m10/1m10-15-20-25-30-35-38-41・・・以降3cmずつ

◇棒 高 跳

男子：予選通過記録は4m00とする。

予選練習 2m50/2m50-70-90-3m10-20-30・・・以降10cmずつ

決勝練習 2m90/2m90-3m00-10-20-30・・・以降10cmずつ

女子：練習 1m80/1m90-2m00-2m10-20-30・・・以降10cmずつ

男子棒高跳予選において予選通過標準記録を超えた者が12名に満たなかった場合、決勝進出者は予選成績により追加補充される。同記録の競技者は、競技規則第181条8を適用する。なお、予選通過標準記録は、天候その他特別な状況が生じた場合に限り、当該審判長の判断により変更されることがある。

7. その他

①トラック競技の出場者（リレーの第4走者）は、プログラムの○数字と同じ腰ナンバーカードを招集所で受け取り、パンツの左右横、やや後方に付けること。フィニッシュ後に回収する。

②スパイクの長さは9mm（走高跳は12mm）を超えてはならない。

③ナンバーカードの数字は、読み取りやすいようにはっきりと書き、胸と背にしっかりと付けること。走高跳、棒高跳および走幅跳の競技者は、背または胸に付けるだけでもよい。

④大会運営に支障をきたしますので、トランシーバーの使用を禁止とする。

⑤メインスタンドでの集団応援については禁止とする。

⑥スタンド最前列や通路で立ち止まっての応援は禁止とする。

⑦メイン競技場への「のぼり旗」の設置については最上段手すり部分のみとする。

⑧メイン競技場への「応援横断幕」の設置についてはサイド・バックスタンド最上段手すり部分のみとする。

⑨ビデオ観察エリアについては、関係者以外立ち入り禁止とする。

8. 本大会で「全日本中学校陸上競技選手権大会」の標準記録に到達し、出場希望のある場合には、指導者が必ず申込み書類等を受領して、申込み方法等の確認をすること。男女4×100mRは、本大会の優勝チームが出場権を得る。閉会式終了後、関東・全日本大会出場についての説明会を会議室で行う。出場権を得た選手及びその指導者は必ず出席すること。